

## 持続可能な社会へ捧げる学びのバトン ～「教科書リユース」の実施で、質の高い教育をみんなに～

金城学院大学 生活環境学部 生活マネジメント学科 4年

吉田光里

### 1. はじめに

大学では、最短で 15 回の授業で役を終える短命な書物たちの存在がある。使い終わった教科書や資格の参考書、あなたならどうするだろうか。捨てる、保管する、フリマサイトで売る、譲渡するなど、様々な選択肢がある。学生はその中から教科書や参考書の始末の手段を自ら選択する。せっかくなら持続可能な社会に適した方法で手放したい。私がこのように考えたきっかけは、遡ること 2 年前。まだパンデミックが起きるとは考えもしなかった頃に目の当たりにした学生の様子だった。テストが終わった日、「やっと終わった」「さようなら」などという言葉とともに、多数の教材を可燃ごみのゴミ箱へ一気にほおり込む姿。あきれるのは、それを面白おかしくとらえ、Instagram のストーリーで捨てる様子を投稿する学生が相次いだこと。持続可能な社会を実現すべく SDGs について学んでいるはずの学生が、もはや一種のパフォーマンスとも言いかねない行動に危機感を覚えた。

果たして、未来を担う学生の行動は持続可能な社会の実現に寄与しているといえるのだろうか。どうせなら学びの書物があるべき姿を「実践的な形」で発信したい。そこで立ち上げたのが「教科書リユース」プロジェクトである。本提言では、テーマとして選んだ「SDGs 目標達成のために取り組むべきこと」への結論として、SDGs 目標 4 番「質の高い教育をみんなに」をはじめとする 3 つの目標達成に向けた「教科書リユース」の普及を目指す。

### 2. 教科書利用の現状

大学の講義で使用している教科書や任意で学習資格の参考書など、専門的な分野を学ぶ上で欠かせないのが書籍であることは言うまでもない。しかし学生の中には、学びに欠かせない教科書を手に入れるのが難しい人も少なくない。大学の学費を奨学金で賄っている人や、学生自身がアルバイト代をためて支払っている人もいるからだ。一人暮らしをしている学生はなおさらだ。彼らにとっては、学ぶために必要な本を手に入れることは、たとえ一冊だとしても容易ではない。事実、教科書代に関しては公立の小学校から高校までに使用してきたものとは異なり、税金で賄われているわけでもない。大学で使用する教科書や参考書は、書籍一冊当たりの価格帯も大幅に上がる。加えて新型コロナ禍で思うようなアルバイトができない状況下も、教科書代の出費に対する向かい風となる。

では、大学生は自身に必要な教科書に対してどのような認識を持っているのだろうか。以上を踏まえて関心を持った私は、以下で複数のデータや資料を基に大学生の教科書利用に関して現状を扱い、把握していきたい。

私が部長を務めるハッピーウーマンサークルでは、教科書リユースの実施に伴い先行調査としてアンケートを実施した。調査の概要は以下の通りである。

- ・対象者 : 金城学院大学 生活環境学部 生活マネジメント学科の学生
- ・対象学年 : 大学 1 年生～ 4 年生

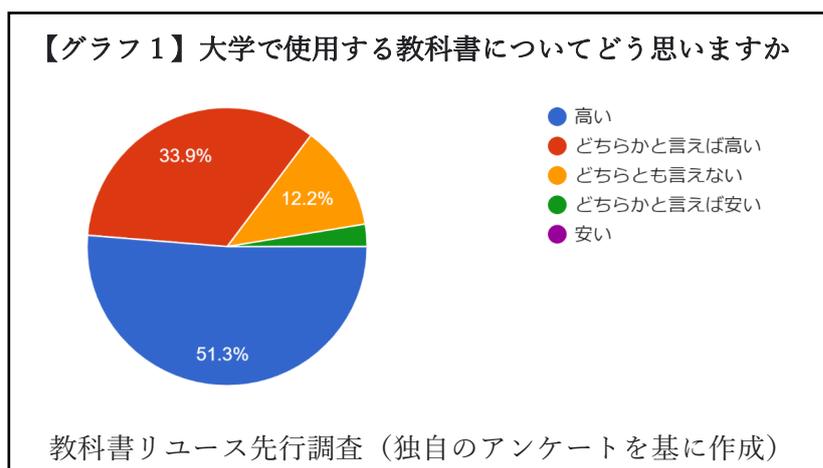
- ・ 回答数 : 115 件 (大学 1 年生 38 名 / 大学 2 年生 18 名 / 大学 3 年生 50 名 / 大学 4 年生 9 名)
- ・ 調査期間 : 2021 年 4 月 25 日 ~ 6 月 5 日
- ・ 調査方法 : Web 調査 (Google Form を使用)
- ・ 調査形式 : 匿名

ここからは、調査項目のうち三つを取り上げ、得られた回答を基に分析していきたい。

### (1) 大学で使用する教科書代への印象

まずは、使用する教科書代に対する印象についてみていこう。

【グラフ 1】は、大学で使用する教科書に対してどのような思いを持っているのか、5 段階の中で最も当てはまるものをえらんでもらった。これを見ると、教科書代について「高い」「どちらかと言えば高い」を選んだ人は全体の 85.2% を占めた。これを見ると、教科書代に対するネガティブ要素が少なからず存在しているということが見て取れるだろう。



また、この現状は日本に限ったことではない。アメリカも同様の現状があるようだ。Amie Freeman(2019)

は、自国の現状について以下のように述べている。

The National Association of College Stores reports that students spent an average of US\$415 each on required course materials during the 2018-2019 school year. The College Board says students should budget \$1,240 annually for books and supplies.

日本語訳 (本論文著者 : 吉田光里)

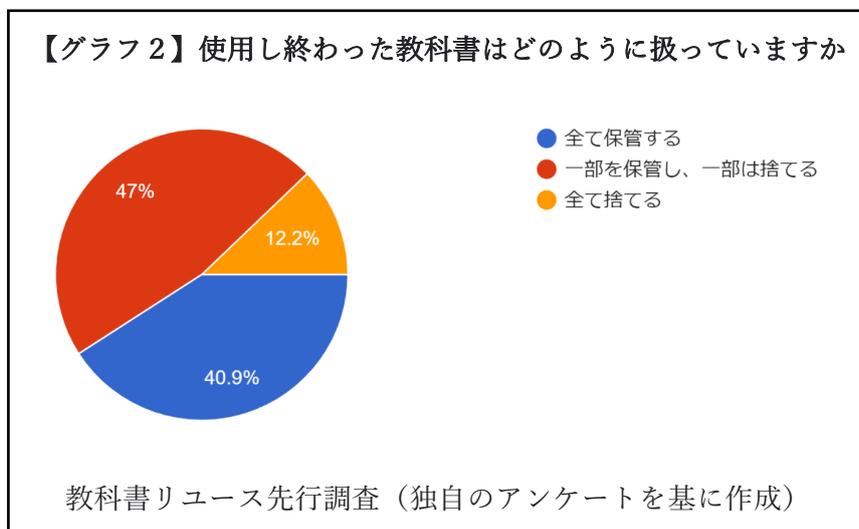
The National Association of College Stores は、2018~2019 年間で学生は各コースの教材費に平均 415 米ドルを費やしたと報告している。また The College Board (米国の非営利団体) は、学生は本や物資に年間 1,240 米ドルの予算を立てるべきだと指摘する。

10 月 15 日時点のレートでは、1 米ドルが 114.29 円となっていた。これを基に計算すると、アメリカにおける各コースあたりの教材費は 47,430.35 円 (≒415 米ドル) ということになる。また、上述の引用の後者で予算についての記載があったが、年間 141,719.6 円 (≒1240 米ドル) は教材費として見積もるべきであることを意味している。これらを見てもわかる通り、日本の教材費と比較すると桁違い。かなり高額だ。他国との比較は文化や授業形式、方針などによっても異なる為一概には言えないが、諸外国においても授業料以外にかかる教科書・参考書代が高額に発生しているという事実が変わりはないことが読み

取れる。では、高い教科書代を支払って手に入れた教科書の行方はどのようにしているのか。以下では大学生が使用後の教科書をどのように扱っているのかについてみていこう。

### (2) 使用後の教科書の扱い方

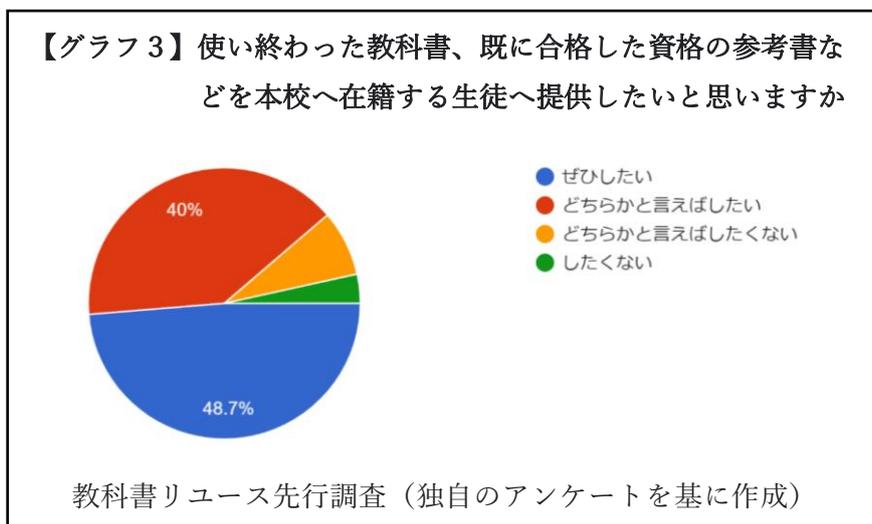
【グラフ2】では、使用後の教科書をどのように扱っているのか、大学生の現状について調査したものである。これを見ると、「一部を保管し、一部は捨てる」が最も多く、全体の半数弱を占めていることが読み取れる。また、「全て捨てる」と回答した人も全体の1割強いることから、何かしらの形で「捨てる」選択肢を選んでいる人は6割弱を占める。



一方で、「全て保管する」を選んだ人は4割程度。読み返しをするなら意味があるが、タンスの肥やしと化しては持続可能な社会の実現は遠のいてしまう。何故なら、教科書は、洋服や家具などのような「リメイク」という手段が存在しないからだ。そこで、とりあえず取っておこうの考えで学びの書物がぞんざいな扱いとならぬよう、使用後の教科書を第三者へ提供することへのニーズを把握したい。

### (3) 使用後の教科書の提供意思

使用後の教科書について、大学生はどのような扱い方を希望しているのか。調査結果によると、「ぜひしたい」「どちらかと言えばしたい」と答えた人は、全体の9割弱を占めた。一方で、【グラフ2】を基に現状を見れば、提供意思があっても捨てている人が半数以上。この現状を何とか改善したい。そこでゼロから一人で立ち上げたのが「教科書リユース」プロジェクトである。以下では、持続可能な社会の実現に向けて自ら発起人となった教科書リユースの実施報告について触れていきたい。



### 3. 教科書リユースの実施報告

#### 課題・注意点

では、本校で実施している教科書リユースとは何か。これまでの軌跡を基に、実現までのプロセスや運営内容についてまとめていく。

右表は、2021年度に実施した内容と今後実施予定の項目についてまとめたものである。特に以下では、「教科書リユースの仕組みについて言及する。

(1) 教科書リユースとは  
具体的にはどのようなことをしているか。教科書リユースでは、講義が終わった後に使わなくなった教科書を後輩へ引き継げる場づくりを行う。図書館で「借りる」行為や、C to Cの営利行為とは異なり、「書き込み自由な教科書を持ち寄れる場として機能する。一部の教授の中には、使用済みの教科書が出まわることが防ぎたい人もいる。そのようなケースでは、書き込みありの教科書の流通を抑止する場として呼びかけを行うなど教授と学生がWin-Winの関係を築くことにも繋がっている。なお、参考書を譲り受けた学生に対しては、「任意」で1冊あたり500円以上の寄付金を依頼する。これは、コロナ禍で生活が困窮している方や困っている方の支援策として打ち出した。集まったお金は、休業要請などで困っている団体や企業などで食品を購入し、寄付金全額を食品に換

期間 (2021年度)	内容
【2021年】 3月後半～4月中旬	★企画書の作成 ★顧問や学科会議の承認獲得
4月後半～	★運営メンバー募集
5月～6月	★法律知識の理解 <sup>1)</sup> (教授より学ぶ) →本活動で著作権違反をしないために ★広報活動 ・新規運営メンバーの募集 ・Instagramにて実施予告や活動の拡散 ・ホームページの作成 ★実施計画の策定 (対面実施案)
7月	★教科書・参考書の「回収」開始 <sup>2)</sup>
7月～8月	★メディアへの活動掲載 ・中日新聞 取材・掲載 (2021年8月25日朝刊 19面にて) ・金城学院大学ホームページ ・HAPPY WOMAN® Instagram ・HAPPY EARTH Instagram ・ハッピーカンパニー Instagram
9月前半～中旬	★実施計画の見直し ・非接触での受け渡し方法 →学科との連携で実現
9月下旬～10月上旬	★教科書・参考書の「回収」・「受け渡し」の同時開催 <sup>2)</sup> ※緊急事態宣言下の為非接触
11月 (予定)	★他大学 (沖縄県) の学生団体と Zoom 交流会 →「教科書リユース」の活動を広める ★寄付先・寄付内容の選定
12月 (予定)	★寄付先への提供
【2022年】 3月 (予定)	★出張教科書リユースの開催 ・回収と提供の同時開催を一般向けに行う ★次年度に向けた教科書・参考書の提供募集

えて子ども食堂や障がい者施設、学習支援事業の団体などに寄付をする。この背景には、学内で行った活動を学外にも広げ、持続可能な社会を生み出す発信源になりたいという想いがあるからだ。

## (2) 法律知識の理解

教科書リユースを行う上で留意しなえなければならないのは、「一步間違えれば『転売』になりかねない」こと、出版社をつぶさないためにも、学科という「狭いコミュニティ」で実現することが求められる。そのため、本活動においては2021年の4月に学科の承認も獲得し、6月には法律を専門とする教授から指導も受けた。誰のものが受け渡されたかがわからぬよう留意し、あくまでも「教科書や参考書を『譲渡』するプラットフォーム」としての姿勢を貫く方針を固め、行動に移している。

## (3) 教科書の回収・受け渡し方法について

コロナ禍で実施したケースは、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置(まんぼう)を挟んだイレギュラーな対応だった。共通しているのは、コロナ禍で感染者を増やさないこと。そのためにも、複数の図書館にヒアリングをして学んだ、「集めた教科書や参考書は、滅菌の為に1日広げて机の上に置く」など工夫をした。運営メンバーが会場で教科書を集める対面形式の際には、アルコール消毒と検温を徹底し、感染対策に留意し、学生同士が直接会って譲渡する活動が学内で禁止された緊急事態宣言下には、教授や在籍する学科の助手の力を借りて非接触の形式を試みた。以下では、緊急事態宣言下に行った実施方法についてまとめる。

- ① 運営は、既に学生が提供した教科書や参考書の一覧を画像と併せてInstagramでお知らせする。
- ② 利用する学生は、教科書や参考書が載った投稿に、欲しい旨をコメント機能で意思表示する。
- ③ 運営はコメントを見てDM(ダイレクトメッセージ)でやり取りする。内容としては、希望する教科書の確認、受け取りを希望する学生の詳細(学籍番号、名前)、受け取り日時などである。
- ④ 運営メンバーは、どの学生がいつ取りに行くかを助手とメールでやり取りする。また、受け取り希望日までに、受け取り希望の教科書を封筒に入れて助手のところに預けに行く。
- ⑤ 受け取り希望の学生は事前に伝えた日時に指定の場所へ行き、寄付金と引き換えに教科書を受け取る。

対面と非接触方式の2パターンを7月と9月に実施した結果、10月時点で提供された教科書や参考書は「約60冊」、また集まった寄付金の総額は「1万円あまり」となった。

## 4. 教科書リユースとSDGs目標達成のかかわり

では、本活動がSDGs目標達成に向けてどのように寄与できているのか。私が掲げる教科書リユースの目的はSDGs(持続可能な開発目標)と密接にかかわっており、17の目標の中でも、本活動では主に以下の3点に焦点を当てて取り組んでいる。

### (1) 目標4「質の高い教育をみんなに」

これは、コロナ禍による生活の困窮や自ら学費を払うなど、金銭的に不安を感じる人に対しても学びの

機会を平等にしたいという意図が含まれている。特に使用後の教科書は新品のものと比較し、メモ書きやアンダーラインなどの書き込みがなされた教科書も出まわる。だからこそ、通常購入するよりも、要点や他者の勉強方法を知ること、より質の高い「深い学び」を実現できる。

## (2) 目標 12 「つくる責任 つかう責任」

二つ目の「つくる責任 つかう責任」は、「リユース」という持続可能な消費の形を理解し、使用後の教科書をぞんざいに扱わない、使用後は使わなければ捨てずに寄付しようという思いなど、学生の教科書に対する認識を変えるきっかけづくりの意図がある。

## (3) 目標 17 「パートナーシップで目標を達成しよう」

三つ目の「パートナーシップで目標を達成しよう」には、これまでに無かった縦と横のつながりをつくる機会とし、他学年との協働を促す意図がある。本プロジェクトを運営するメンバーは大学2～4年生と幅広く、利用者を合わせると、大学1年生も加わる。さらに社会貢献に目を向け、教科書の譲渡の際に頂いた寄付金で子ども食堂や障がい者支援に充てるなど、多様性の中で成り立つプロジェクトとして位置づけられる。目標 10 「人や国の不平等をなくそう」にも関連する「パートナーシップ」を大切に協働していくことも、本活動の重要な指針となる。

## 5. おわりに

教科書リユースは、一学生が始めた取り組みに過ぎないため、まだまだメジャーな活動とは言えない。しかし、片親家族、学費を自身のアルバイト代で賄っている人、コロナ禍でアルバイトを辞めさせられてから働き口が見つかっておらず生活が困窮している人など、様々な事情を抱える学生は今後も一定数い続けるだろう。だからこそ、必要としている人へ確実に届けたい。教科書リユースの持続可能性は無尽だ。リユース活動自体は小さなことかもしれないが、ゴミの廃棄量削減や子ども食堂への社会貢献、学習支援団体への参考書提供など、社会貢献度の高さは学内にはとどまらないからだ。

広がれ！教科書リユースの輪！眠った書物は、捨てられた書物とともに呼び起こし、必要としている人のもとへ譲渡する場づくりは続く。特にコロナ禍でオンライン授業が活発化された2年間、教科書を持ち歩かないという理由で状態の良い本が譲渡される傾向が顕著な事実も追い風となる。今後は30～40代主婦層のニーズにも応え、2022年3月には、学外で「出張リユース（仮）」として家庭に眠った「絵本」なども譲渡し合える環境をつくる予定だ。少子高齢化の社会で子育てする家族を応援すべく、「質の高い教育をみんなに」提供する人となることで「持続可能な社会へ捧げる学びのバトン」を繋いでいきたい。

## 6. 引用文献

- 1) The Conversation Media Group Ltd, Amie Freeman, Why do college textbooks cost so much? 7 questions answered, 「1. How much are students spending on textbooks these days?」, [Why do college textbooks cost so much? 7 questions answered \(theconversation.com\)](https://theconversation.com/why-do-college-textbooks-cost-so-much-7-questions-answered-12345)  
(2021年10月10日取得)

#### 審査委員長のコメント

強い問題意識と実行力で提案内容を着実に実践しており、先行調査から企画実行に至るプロセスの綿密さなどプロジェクト自体の完成度の高さが際立っている。また、大学やメディアも巻き込んでいる点は提案内容の普及・促進という点で大変有意義であり、共感を得た。